【資料2】

令和5年度「地域年金展開事業」取り組み経過

令和5年12月末現在

東北福島年金事務所

(福島県代表年金事務所)

日本年金機構

Japan Pension Service

目　　次

1　地域年金展開事業の概要　・・・・・・・・・・・・・Ｐ２

2　令和5年度の取り組み経過　・・・・・・・・・・・・Ｐ４

(1) 地域連携事業・地域相談事業

(2) 年金セミナー事業

(3) 年金委員活動支援事業

(4) 地域年金事業運営調整会議

3　「ねんきん月間」「年金の日」の取り組み　・・・・・・・・・・Ｐ19

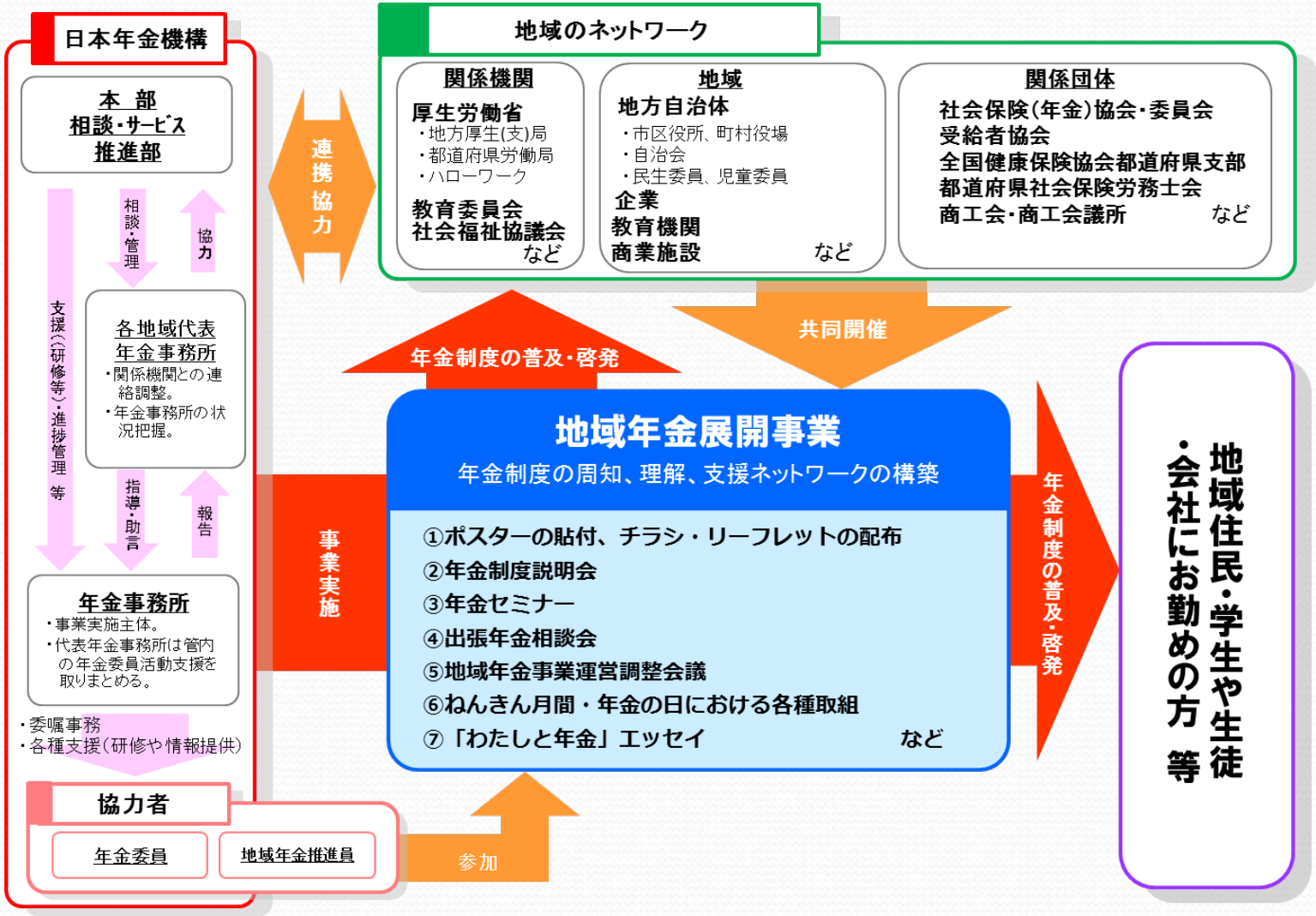
4　マスコミでの取り上げ状況　・・・・・・・・・・・・Ｐ20

5　県内各年金事務所の主な取り組み状況　・・・・・・・・・・・Ｐ21

6　第21回会議の主なご意見と回答　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ27

1　地域年金展開事業の概要

公的年金制度の運営にあたる日本年金機構にとって、地域、教育、企業の中での年金制度の周知、理解、支援のネットワークの再生・再構築が喫緊の課題であり、年金制度に対する理解をより深め、制度加入や保険料納付に結びつけるため、それぞれの地域に根ざした「地域における年金運営の展開に関する事業」(地域年金展開事業)を実施しています。



〈 地域年金展開事業の主な取り組み 〉

◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。

◆また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

地域連携事業	・職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。 ・市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。
年金セミナー事業	・職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。 ・大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。
地域相談事業	・年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。
年金委員 活動支援事業	・年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。
地域年金事業 運営調整会議	・公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

2　令和5年度の取り組み経過

(1)　地域連携事業・地域相談事業

① 市町村国民年金担当者研修会の実施

情報の共有と事務の適正化および効率化を図るため、県内市町村担当者を対象とした国民年金に関する事務処理の説明会を実施しています。基礎的な知識の習得を目的としたオンラインによる研修に加えて、研修内容の充実を図るため、実務に即した研修内容を対面で実施しています。

事務所名	東北福島	郡山	平	会津若松	相馬	白河	合計	令和4年度
実施回数	2回	3回	3回	19回	3回	2回	32回	69回

② 生活保護新任査察指導員および新任担当職員研修会への講師派遣

福島県保健福祉部が主催する研修会へ講師を派遣して、福島県および各市福祉事務所の新任査察指導員と新任担当職員に対して、年金制度の概要や受給要件の確認などについて説明を行いました。

事務所名	開催日	開催方法	受講者数
東北福島	令和5年8月28日(月)	オンライン (相手方ZOOMによる)	80名

③ 令和5年度社会保険事務講習会の実施

事業所の社会保険事務担当者向けに、６月に福島県社会保険協会との共催、10月~12月に福島県社会保険協会・福島県社会保険委員会連合会・全国健康保険協会福島支部との共催で事務講習会を実施しました。

■ 令和5年度　算定基礎届等事務講習会（6月開催）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度以降は中止しておりましたが、令和5年度より3年ぶりに開催しました。よくある事例を取り上げながら「算定基礎届」作成のポイントなどを説明したほか、ハローワークと連携して短時間労働者の適用拡大およびキャリアアップ助成金の説明を行いました。

事務所名	東北福島	郡山	平	会津若松	相馬	白河	合計
実施回数	1回 2回	1回 1回	1回 1回	1回 1回	1回 1回	1回 1回	6回 7回
受講者数	258名 380名	243名 399名	157名 207名	140名 214名	70名 114名	79名 108名	947名 1,422名

※　青字は令和元年度実績

■ 令和5年度　社会保険事務講習会（10月～12月開催）

社会保険の適用に関する届け出や年金給付の諸手続きなどについて説明を行いました。また、短時間労働者の適用拡大と年収の壁について説明し、適切・適正な届出を円滑に行えるよう制度周知に努めました。

事務所名	東北福島	郡山	平	会津若松	相馬	白河	合計
実施回数	2回 2回	3回 3回	1回 1回	1回 1回	2回 2回	2回 2回	11回 11回
受講者数	215名 227名	224名 289名	120名 140名	98名 126名	76名 96名	54名 83名	787名 961名

※　青字は令和4年度実績

④ 退職準備セミナーへの講師派遣

福島県労働福祉協議会主催の退職準備セミナーにおいて、退職を間近に控えている方や数年内に退職を迎えられる方々に対して、年金制度の概要や退職後の年金手続きについての説明を行いました。

事務所名	東北福島	郡山	平	会津若松	相馬	白河	合計
開催日 （各土曜日）	令和6年 1月27日	令和5年 10月21日	令和6年 1月20日	令和5年 12月16日	令和5年 12月2日	令和5年 10月28日	6回
参加者数	52名	20名	40名	25名	8名	25名	170名

⑤ 関係機関・団体等への協力依頼

「ねんきんネット」のユーザー拡大および個人向けオンラインサービスの利用促進のため、事業所向けに県内の各法人会および税務署へ協力依頼を行ったほか、7月には福島県商工会連合会を通して県内88商工会でリーフレット設置にご協力いただきました。また、福島商工会議所の所報へ記事掲載を依頼、所報の11月号に短時間労働者の適用拡大やねんきんネットについての記事を掲載いただきました。

地域住民の方への制度周知では、福島市市政だよりへの定期的な記事掲載や、市町村役場マイナンバーカード申込窓口でのねんきんネット周知リーフレット設置などご協力いただきました。

⑥ 出張年金相談の実施

遠方にお住まいの方で、年金事務所へお越しいただくことが困難なお客様のために、市町村での出張年金相談を開催しています。
広報については、市町村や福島県社会保険協会の広報誌に掲載いただいているほか、地域型年金委員向け広報紙「支えあい」に掲載して周知に努めています。

事務所名	開催市町	実施場所	相談日	開催回数	相談者数
会津若松	喜多方市	喜多方市役所	隔月第2木曜日	5回	19名
相馬	南相馬市	南相馬市役所	毎月第2,4水曜日	15回	32名

⑦ 商業施設における出張年金相談の実施

11月のねんきん月間で3日間、福島市のスーパーマーケットにおいて出張年金相談会を実施しました。実施にあたって、日本年金機構のホームページへの掲載や実施店舗にポスターを掲示いただいたほか、新聞へ記事掲載していただいたり、関係機関や年金委員へリーフレットを配付しました。
当日は東北福島年金事務所から、1日4人体制で年金相談や「ねんきんネット」利用案内などを行い、地域住民の皆様に年金制度に対する理解を深めていただけるよう、周知・啓発を行いました。

出張年金相談会場の様子

■ 制度説明会の実施状況

事務所別	企業・団体等	受講者	自治体・公的機関等	受講者	社会保険協会・委員会等	受講者
東北福島	・算定事務講習会(福島市)	258	・職業訓練法人 福島職業訓練技能協会	18	・福島県社会保険協会福島支部	15
	・社会保険事務講習会(福島市)	171	・管内市町村国民年金事務担当者研修会(2回)	17	理事・評議員会	
	・社会保険事務講習会(二本松市)	44	・生活保護新任査察指導員及び新任担当職員研修会	80	・福島県社会保険協会定時評議員会	17
	・福島県社会保険労務士会福島支部研修会	30	(福島県保健福祉部)		・福島社会保険委員会総会・研修会	50
	・管内事業所	7	・福島地域行政相談連絡協議会	12	・福島県社会保険委員会連合会定期役員会	22
	・福島医療生活協同組合	15	(福島行政監視行政相談センター)		・福島社会保険委員会	35
	・管内事業所	13	・退職準備セミナー(福島市)予定	52	(輝く女性のための研修会)	
					・福島県地域型年金委員会総会・研修会	17
					・地域型年金委員連絡会(2回)	27
郡山	・算定事務講習会(郡山市)	243	・就職支援セミナー(ハローワーク郡山)	16	・郡山社会保険委員会理事会	14
	・社会保険事務講習会(郡山市)	163	・管内市町村国民年金事務担当者研修会(2回)	21	・郡山社会保険委員会研修会	56
	・社会保険事務講習会(須賀川市)	36	・退職準備セミナー(郡山市)	20	・福島県社会保険協会郡山支部・郡山社会保険	70
	・社会保険事務講習会(田村市)	25	・市町村職員研修（予定）	12	委員会年金セミナー(管内4ヵ所)	
	・管内事業所	4			・年金委員研修会(管内4ヵ所)予定	
	・管内自治会	10			・地域型年金委員連絡会(1回)(1回予定)	8
平	・算定事務講習会(いわき市)	157	・管内市町村国民年金事務担当者研修会(3回)	39	・平社会保険委員会役員会	9
	・社会保険事務講習会(いわき市)	120	・退職準備セミナー(いわき市)予定	40	・平社会保険委員会総会・研修会	36
	・管内事業所	13			・福島県社会保険協会平支部研修会	12
					・地域型年金委員連絡会(2回)	20

※　青字はオンラインで実施
※　受講者の単位は人数

■ 制度説明会の実施状況

事務所別	企業・団体等	受講者	自治体・公的機関等	受講者	社会保険協会・委員会等	受講者
会津若松	・算定事務講習会(会津若松市) ・社会保険事務講習会(会津若松市) ・PCトレーニングセンター(3回) ・会津アピオPCスクール(4回) ・トコムOAスクール(4回) ・わーくすたいる(5回)(1回予定) ・新規適用事業所事務説明会(3回) ・新規適用事業所事務説明会(2回)	140 98 31 44 35 52 17 4	・管内市町村新任事務担当者研修会(2回) ・管内市町村国民年金事務担当者研修会(15回)(6回予定) ・管内市町村国民年金事務担当者研修会(2回) ・退職準備セミナー(会津若松市)	9 67 33 25	・福島県社会保険協会会津若松支部理事会 ・福島県社会保険協会会津若松支部年金委員研修会 ・地域型年金委員連絡会(2回)	13 30 29
相馬	・算定事務講習会(相馬市) ・社会保険事務講習会(相馬市) ・社会保険事務講習会(南相馬市) ・管内事業所	70 28 48 5	・管内市町村国民年金事務担当者研修会(3回) ・退職準備セミナー(南相馬市)	7 8	・相馬社会保険委員会研修会 ・地域型年金委員連絡会	15 5
白河	・算定事務講習会(白河市) ・社会保険事務講習会(白河市) ・社会保険事務講習会(棚倉町)	79 40 14	・管内市町村国民年金事務担当者研修会(2回) ・退職準備セミナー(白河市)	16 25	・白河社会保険委員会事務研修会 ・福島県社会保険協会白河支部事務講習会 ・地域型年金委員連絡会(2回)	27 16 25

※　青字はオンラインで実施
※　受講者の単位は人数

(2)　年金セミナー事業

① 教育機関における年金セミナーの実施

東北福島年金事務所で、春と秋の2回にわたり、教育庁や県総務部私学・法人課等へ教育関係機関へ年金セミナー実施に向けた協力要請を行いました。6月には各校長会の理事会等で、学校長に対して年金セミナー実施や「わたしと年金」エッセイ募集の協力依頼を行いました。
また、地域年金推進員が市町村の教育委員会や各学校を訪問して、積極的なアプローチを行っています。

事務所名	大学・専門学校		特別支援学校等		高等学校		中学校		合計		令和5年度(予定含む)	令和4年度
	実施校数	実施予定数	実施校数	実施予定数	実施校数	実施予定数	実施校数	実施予定数	実施校数	実施予定数		
東北福島	1校(4回)	1校(1回)	1校(1回)	0校(0回)	5校(5回)	1校(1回)	0校(0回)	2校(2回)	7校(10回)	4校(4回)	11校(14回)	15校(19回)
郡山	5校(7回)	1校(2回)	0校(0回)	1校(1回)	2校(3回)	0校(0回)	1校(1回)	1校(1回)	8校(11回)	3校(4回)	11校(15回)	23校(26回)
平	2校(2回)	0校(0回)	2校(3回)	0校(0回)	1校(1回)	0校(0回)	2校(2回)	0校(0回)	7校(8回)	0校(0回)	7校(8回)	14校(14回)
会津若松	2校(2回)	0校(0回)	1校(2回)	0校(0回)	3校(3回)	1校(1回)	0校(0回)	0校(0回)	6校(7回)	1校(1回)	7校(8回)	10校(11回)
相馬	0校(0回)	1校(1回)	0校(0回)	0校(0回)	0校(0回)	1校(1回)	0校(0回)	0校(0回)	0校(0回)	2校(2回)	2校(2回)	3校(4回)
白河	4校(4回)	1校(1回)	0校(0回)	0校(0回)	0校(0回)	0校(0回)	0校(0回)	0校(0回)	4校(4回)	1校(1回)	5校(5回)	7校(10回)
合計	14校(19回)	4校(5回)	4校(6回)	1校(1回)	11校(12回)	3校(3回)	3校(3回)	3校(3回)	32校(40回)	11校(12回)	43校(52回)	72校(84回)

※　特別支援学校等の実施校数については、教職員・保護者への年金セミナーを含む

■年金セミナーの実施状況 (大学・専門学校・特別支援学校)

実施月	大学・専門学校	学年	受講者	事務所名	特別支援学校等	学年	受講者	事務所名
令和5年5月	・郡山女子大学(DVD)※5~12月で実施	1~4	264	郡山				
	・iwakiヘアメイクアカデミー	1,2	39	平				
	・竹田看護専門学校	2	59	会津若松				
6月	・福島学院大学	2	79	東北福島				
	・太田看護専門学校(2回)	2	78	郡山				
	・白河厚生総合病院付属高等看護学院	2	25	白河				
7月	・しらかわ介護福祉専門学校	2	8	白河				
	・福島県農業総合センター農業短期大学校	1	59	白河				
8月								
9月					・福島県立いわき支援学校(教職員)		3	平
１０月	・郡山健康科学専門学校	3	20	郡山				
11月	・福島学院大学(2回)	1	84	東北福島	・福島県立いわき支援学校(父兄)	—	44	平
	・郡山健康科学専門学校	1	26	郡山	・福島県立いわき支援学校 くぼた校	3	16	平
	・医療創生大学	1,2	2	平	・福島県立会津支援学校(保護者)	—	12	会津若松
12月	・福島学院大学	2	59	東北福島	・福島県立だて支援学校(生徒・保護者)	3	11	東北福島
	・郡山女子大学短期大学部	2	62	郡山	・福島県立会津支援学校	1~3	23	会津若松
	・今泉服飾専門学校	1~3	19	郡山				
	・温知会看護学院	2	30	会津若松				
	・白河准看護学院	2	6	白河				
令和6年1月(予定)	・ケイセンビジネス公務員カレッジ	1	16	郡山				
2月(予定)	・郡山女子大学短期大学部	2		郡山				
	・相馬看護専門学校			相馬				
	・公立岩瀬病院附属高等看護学院(郡山管轄)	1~3		白河				
3月(予定)	・大原看護専門学校(DVD)	1		東北福島				

※　紫字は動画(DVD)で実施
※　受講者の単位は人数

■年金セミナーの実施状況 (高等学校・中学校)

実施月	高等学校	学年	受講者	事務所名	中学校	学年	受講者	事務所名
令和5年 5月	・福島県立石川高等学校(2回)	2	51	郡山				
6月								
7月	・福島県立福島工業高等学校 ・あおぞら高等学院　郡山キャンパス ・福島県立会津農林高等学校 耶麻校舎(DVD)	3 3	37 31 39	東北福島 郡山 会津若松				
8月								
9月	・福島県立磐城高等学校	2	56	平	・郡山市立宮城中学校(DVD)	3		郡山
10月								
11月	・福島県立川俣高等学校(DVD) ・福島県立西会津高等学校	3 3	12 14	東北福島 会津若松	・いわき市立上遠野中学校	3	29	平
12月	・福島県立福島北高等学校 ・福島県立福島工業高等学校 定時制(DVD) ・福島県立福島明成高等学校(DVD) ・福島県立猪苗代高等学校	3 4 3 2,3	109 6 174 32	東北福島 東北福島 東北福島 会津若松	・いわき市立内郷第三中学校	3	8	平
令和6年 1月 (予定)	・福島県立福島商業高等学校(DVD) ・福島県立南会津高等学校 ・福島県立いわき湯本高等学校 遠野校舎(平管轄)	3 3 3	240 35 30	東北福島 会津若松 相馬	・川俣町立山木屋中学校	3	2	東北福島
2月 (予定)								
3月 (予定)					・福島市立野田中学校 ・田村市立滝根中学校	3 3		東北福島 郡山

※　紫字は動画(DVD)で実施
※　受講者の単位は人数

② 地域年金推進員の活動

日本年金機構では、次代を担う学生・生徒に対して、公的年金制度の仕組みや基本理念を正しく理解してもらうため、学校との連絡・調整や生徒へのプレゼン能力に長けた教職員OB等を「地域年金推進員」として委嘱し、年金セミナーなどの活動を行っていただいています。

今年度より、佐藤推進員の後任として新たに2名の推進員を委嘱し、現在3名で福島県内の活動を行っています。

③ 社会保険労務士会とのコラボ授業の実施

福島県社会保険労務士会の協力を得て、ワークルールセミナーとあわせた年金セミナーのコラボ授業を実施しました。

事務所名	実施日	実施校名	受講者数
郡山	令和5年10月13日（金）	郡山健康科学専門学校	20名
郡山	令和5年11月15日（水）	郡山健康科学専門学校	26名
会津若松	令和5年12月14日（木）	福島県立猪苗代高等学校	32名
白河	令和6年2月26日（月）予定	公立岩瀬病院附属高等看護学院	

④ 「わたしと年金」エッセイ募集の取り組み

日本年金機構では、毎年11月を「ねんきん月間」として位置づけ、この取り組みの一環として中学生以上の方を対象に、公的年金との関わりを描いたエッセイ「わたしと年金」を募集しております。
例年、年金セミナーの実施とあわせて募集を行っており、今年度は福島県内で一般の方1名、高等学校1校30名の応募がありました。

⑤ 第4回「福島県年金ポスターコンクール」の取り組み

公的年金をテーマとしたポスターの作成を通じて、年金を身近に感じていただき、制度への参加意識を醸成していくことを目的として、福島県内の中学生を対象とした「年金ポスターコンクール」を実施しました。その結果、10校51点の応募をいただき、入賞者11名に対して表彰状を授与しました。また、応募いただいた方全員へ記念品および作品集を贈呈しました。表彰式の様子や受賞作品は、福島民報社、福島民友新聞社で、記事掲載をいただきました。
その他年金事務所では、年金委員向け広報紙への掲載やコラッセふくしま(福島市)で展示を予定しています。

実施年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
応募校数	9校	10校	13校	10校
応募数	35点	43点	31点	51点

《年金ポスターコンクール作品展のご案内》

開催日時：令和6年3月25日(月)～4月1日(月)
午前8時30分から午後5時まで
※1 初日は午前11時から午後5時まで。
※2 最終日は午前8時30から午後3時30分まで。

開催場所：コラッセふくしま(福島市)1階アトリウム
福島市三河南町1-20

(3)　年金委員活動支援事業

年金委員とは、政府が管掌する厚生年金保険および国民年金に関する適用・給付・保険料などの制度を、会社や地域において啓発、相談、助言などの活動を行う民間協力員です。
年金委員は活動の種類により、職域型と地域型の2種類に区分され、職域型は主に事業所内での活動、地域型は自治会などの地域で活動していただいております。

① 年金委員表彰の実施

全国健康保険協会福島支部、福島県社会保険協会、福島県社会保険委員会連合会との共催により、 毎年11月に年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式を実施しています。令和5年度は、コロナ禍前の規模で表彰式と委員研修を行い、関係者を含めて約160名が参加しました。

【開催日】　令和5年11月16日
【開催場所】　コラッセふくしま(福島市)
【表彰対象】　厚生労働大臣表彰　2名
日本年金機構理事長表彰　6名
日本年金機構理事表彰　14名

※表彰対象は年金機構関係者分のみ

② 年金委員の委嘱拡大に向けた取り組み

職域型年金委員の委嘱拡大は、被保険者50人以上の事業所に対して、文書や電話勧奨、他課と連携して訪問するなどいろいろな機会を捉えて勧奨し、委嘱に繋げています。
地域型年金委員の委嘱拡大は、民生委員や市町村職員(OB)などを積極的に委嘱し、周知が届きにくいところに対して活動の活性化を図っています。

事務所名	令和4年度末(A)			令和5年12月末(B)			増減 (B)-(A)		
	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計
東北福島	671	52	723	666	52	718	△5	0	△5
郡山	568	22	590	571	23	594	3	1	4
平	446	29	475	435	31	466	△11	2	△9
会津若松	440	26	466	423	28	451	△17	2	△15
相馬	220	11	231	222	12	234	2	1	3
白河	262	30	292	255	31	286	△7	1	△6
合計	2,607	170	2,777	2,572	177	2,749	△35	7	△28

③ 地域型年金委員研修会および地区連絡会の実施

7月に地域型年金委員会と連携して、福島県地域型年金委員会総会および研修会を実施し、役員に対して「年金制度改正および国民年金保険料関係の制度周知について」の研修を行いました。また、各年金事務所では、管轄の年金委員を対象に研修会・連絡会を実施しています。意見交換の場では、各委員より立場を活かした活動を紹介していただくなど、情報交換できるよう取り組んでいます。

④ 年金委員への情報提供および活動

年金事務所では、年金委員向けの広報紙を職域型年金委員には年2回、地域型年金委員には年4回発行して、年金制度に関するタイムリーな情報提供に努めています。11月の「ねんきん月間」では、ねんきんネットの周知広報や日本年金機構本部で開催している年金委員を対象とした研修会などで、年金制度の周知を図っています。
また、地域型年金委員の活動として、地域住民の方へ国民年金の電子申請用チラシの配布を行っていただいたり、職域型年金委員の活動として、従業員やその家族へ、ねんきんネットの周知・登録についてご協力をいただきました。

(4)　地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がる地域支援ネットワークの構築および地域に根ざした年金事業の積極的な推進を図ることを目的として、7月と1月に地域年金事業運営調整会議を開催しています。

前会議では、資料に基づき福島県における令和４年度地域年金展開事業取り組み結果および令和5年度事業計画を説明しました。また、学識経験者である委員を委員長として推薦し、議長を務めていただきました。

【開催日】　令和5年7月25日(火)14：00～16：00
【開催場所】　コラッセふくしま(福島市)
【出席者】　委員（※）　15名
日本年金機構　16名
※代理出席を含む
【議事内容】　令和4年度　地域年金展開事業　取り組み結果
令和5年度　地域年金展開事業　事業計画

3　「ねんきん月間」　「年金の日」の取り組み

日本年金機構では、11月を「ねんきん月間」として、また11月30日(いいみらい)を「年金の日」として位置づけており、公的年金制度の周知・啓発活動を行っております。

事務所名	11月の取り組み内容
福島県内年金事務所	令和5年度　年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式の実施
福島県内年金事務所	令和5年度　「社会保険事務講習会」の実施(※)
福島県内年金事務所	管内の学校で年金セミナーの実施
東北福島・会津若松	コミュニティFMを活用した年金制度説明の実施
郡山	管内の自治会で年金制度説明会の実施
東北福島・会津若松	管内の事業所で年金制度説明会の実施
東北福島・会津若松・相馬	出張年金相談の実施
会津若松・相馬	管内市町村事務担当者向け研修会の実施
東北福島・会津若松・白河	地域型年金委員連絡会の実施

(※)月をまたいだ取り組みも実施しています。

4　マスコミでの取り上げ状況

年金セミナーの開催および「わたしと年金」エッセイ募集等を、県政記者クラブへプレスリリースした結果、各紙面へ掲載していただきました。

掲載年月日	メディア名	事業内容
令和5年11月10日	福島民報新聞	「ねんきん月間」の取り組み
令和5年11月14日	福島民報新聞	令和5年度 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式(受賞者発表)
令和5年11月15日	福島民友新聞	
令和5年11月30日	福島民報新聞	年金の日特集 「11月３０日は年金の日」です
令和5年11月30日	福島民友新聞	
令和5年12月12日	福島民友新聞	第4回 「福島県年金ポスターコンクール」審査結果発表
令和5年12月27日	福島民友新聞	第4回 「福島県年金ポスターコンクール」授賞式

※掲載いただいた一部の内容について紹介しております。

5　県内各年金事務所の主な取り組み状況

東北福島年金事務所

地域連携事業および地域相談事業

■制度説明会・出張年金相談会の開催

企業や自治体・関係団体へ対象者のニーズに合わせた制度説明会を実施しました。
８月に実施した職業訓練校における制度説明会では、将来は技能者(大工・畳職人)として独立を目指している方などに対し、年金制度全般に加えて厚生年金の適用に関する説明を行いました。
また、11月のねんきん月間では管内のスーパーマーケットで、出張年金相談会を開催し来店者の方へ年金相談や「ねんきんネット」チラシを配布するなどして制度周知を図りました。
こうした取り組みのなかで、年金事務所をより身近に感じていただき、いつでも相談できる窓口となれるよう、年金事務所の体制づくりに取り組むとともに、積極的な周知・広報に努めてまいります。

年金セミナー事業

■年金セミナーの充実

令和５年４月より新たな地域年金推進員２名を委嘱し、県内および東北福島管内の学校へ年金セミナー実施に向けた取り組みを行っています。
特に年金セミナーがより充実したものとなるようオブザーバーとしてアドバイスをいただき、年金に関するクイズを取り入れるなど学生・生徒の皆様とコミュニケーションをとりながら行う工夫をしています。
引き続き、地域年金推進員と連携して、正しく年金制度を伝える入口として年金セミナーの拡充を図ってまいります。

年金委員活動支援事業

■年金委員の活動支援

地域型・職域型ともに委員数を増やすため、訪問や電話などで勧奨を行いました。
８月には地域型年金委員連絡会を開催し、新たに委嘱された地域型年金委員に対し年金委員活動に関する研修を行いました。
また、職域型年金委員からの依頼で、従業員に対して制度説明会を実施するなど、活動支援に努めております。

郡山年金事務所

地域連携事業および地域相談事業

■地域連携事業の取り組み状況

ハローワーク、郡山男女共同参画センターと連携しながら、求職支援者、退職者向けの制度説明会を実施し、今後の働き方や年金請求手続きの参考となったとの意見をいただきました。
事業所の担当者、年金受給者等に広く制度説明会を実施してきました。
特に、事業所の担当者の方に対しては、社会保険事務に関する制度改正や事務手続きに関する説明会を行い、従業員の方への周知広報も依頼してきました。

今後も地域の関係団体と連携し、地域内で広く年金制度の周知に取り組んでいきます。

年金セミナー事業

■年金セミナーの実施状況

実施回数　11回
年金制度をより身近に感じてもらえるよう、学生参加型のセミナーを基本に、生徒の年齢や進路に応じたセミナーを心掛けました。
学生の皆さんからは「年金の役割や重要性を理解することができた」などご意見をいただき、年金セミナー事業の大切さを改めて共有できました。

年金委員活動支援事業

■年金委員委嘱拡大の取り組み

職域型年金委員の委嘱拡大に向け、50人以上の従業員規模の事業所へ定期的な勧奨を行っています。
また、今年度も定期的な広報誌とパンフレット等の提供、秋冬2回の委員対象の研修会を行いながら、社内活動支援を進めています。

平年金事務所

地域連携事業 および 地域相談事業

■地域、企業等に対する制度周知

実施数　11回
市町村国民年金担当者への制度説明会、企業向け年金制度説明会を実施し、制度周知に取り組みました。
ハローワークと連携しながら、退職者向けの制度説明会を週１回実施しました。

年金セミナー事業

■年金セミナーの取り組み

実施数　8回
中学校、支援学校を含めた幅広い教育機関で年金セミナーが実施できました。
支援学校では、父兄の方々へ障害年金の具体的な手続きの説明をすることができ、有意義なものとなりました。

年金委員活動支援事業

■年金委員に対する制度周知

地域型年金委員を対象に研修会を2回実施し20名の参加をいただきました。
職域型年金委員を対象に研修会を2回実施し277名の参加をいただきました。

会津若松年金事務所

地域連携事業 および 地域相談事業

■地域での制度周知および相談事業

企業の事務担当者に対し、年金制度説明会を通じ、年金制度の知識や手続き、制度改正情報等の周知、啓発に努めました。
月１回の地域ＦＭでの放送、就職者支援のパソコンスクールでの年金制度説明会(今年度は16回実施)を行うことで、地域の幅広い層に対し、年金制度や制度改正の周知を行いました。
喜多方市と連携し、年金事務所より遠方にお住まいのお客様の利便性、市役所からの強い開催の要望などのニーズに応えるため、年金相談窓口を喜多方市において年６回(偶数月)定期的に開催いたしました。
引き続き、年金制度説明会実施による周知、広報活動に努めていきます。

年金セミナー事業

■年金セミナーの取り組み

学生を主とした若年層の皆さまに、年金制度は身近で重要であることを学んでいただけるよう、管内高校・専門学校・支援学校に対し、DVD視聴を含め、年金セミナーを7回実施しました。
セミナー後のアンケートでは「年金の重要さを理解できた」等好評なご意見をいただきました。

年金委員活動支援事業

■年金委員活動

職域型年金委員の皆さまに対して、年２回の事務講習会を実施しました。また、従業員50人以上の事業所を中心に、職域型年金委員の委嘱の拡大に取り組みました。
地域型年金委員研修会では、制度改正、オンライン事業関係の研修会を年2回実施し、あわせて地区の連絡会も開催しました。

相馬年金事務所

地域連携事業および地域相談事業

■年金制度説明会

市町村および関係団体、適用事業所に対し年金制度説明会を対面で実施し、制度周知に取り組みました。

■地域年金相談事業

南相馬市にて、毎月2回出張相談を実施しています。相談は完全予約制であり、お客様をお待たせすることなく、年金の受給手続きが行えることで好評を得ております。
今後も継続して取り組んでまいります。

年金セミナー事業

■年金セミナーの取り組み

高校および専門学校にて年金セミナーを実施しました。
引き続き年金セミナーおよび管内教育機関での年金セミナー実施に向け取り組んでまいります。

年金委員活動支援事業

■年金委員活動支援の取り組み

職域型年金委員と連携し社会保険の事務手続きの研修を実施しました。
地域型年金委員に対しては、地区連絡会にて研修を行いました。
従業員50人以上の事業所に対し職域型年金委員の委嘱拡大に取り組みました。
また、市町村および教育機関に対し地域型年金委員の委嘱の拡大に取り組みました。

白河年金事務所

地域連携事業および地域相談事業

■地域連携事業の取り組み状況

ハローワークと連携しながら、退職者向けの制度説明会を週１回実施し、今後の各種手続き等の参考になったとの意見をいただきました。
事業所の事務担当者、年金受給者等に制度説明会を実施しました。
今後も地域の関係団体と連携しながら、幅広く年金制度説明会による制度周知活動に取り組んでいきます。

年金セミナー事業

■年金セミナーの実施状況

実施回数　4回
年金制度は身近であることを感じてもらえるように、年齢に応じた年金セミナーを心掛けて実施しました。
セミナー後のアンケートでは、「年金の重要性などを理解できた。」などのご意見をいただきました。

年金委員活動支援事業

■年金委員委嘱拡大の取り組み

職域型年金委員の委嘱拡大に向け、50人以上の従業員規模の事業所へ定期的な文書および電話勧奨を行い委嘱拡大に取り組んでいます。
また、今年度も定期的な広報誌等の送付を行っています。年２回の地域型年金委員を対象にした研修会も実施しています。

6　第２１回会議の主なご意見と回答

事業種類	ご意見	回答
地域連携事業	新型コロナウイルス感染症の第５類移行で、民生委員や生活保護担当者への研修などが再開されるので、オンラインの利便性も活用しながら取り組んでいただきたい。	生活保護担当者への研修会で時間を作っていただき、オンラインを活用しながら制度説明会を実施しました。引き続きご協力をお願いしながら、民生委員の方への研修会を含めた制度周知を、ご相談させていただきながら取り組みます。
地域連携事業	広報誌を活用した制度周知で、協力できることもあるため相談いただきたい。	市政だよりでの定期的な紙面掲載のほか、福島商工会議所様の広報誌への記事掲載、商工会連合会様での広報誌とあわせたチラシ配付、福島民報社様、福島民友新聞様での記事掲載など、制度周知のご協力をいただきました。令和6年度も引き続き関係機関様へ協力依頼し、多方面からの制度周知に取り組みます。
年金セミナー事業	年間計画の時期にあわせて、年金セミナー実施の周知をしていただくと、現代の諸課題の一つとして各教科にマッチングさせながら教育活動をできるのではないか。	令和５年10月~11月にかけ、教育委員会様や県総務部私学法人課様を通して、各学校長様へ次年度に向けたセミナー実施依頼をしました。令和6年度も、年度初めに県代表事務所から各学校長様あて協力依頼をするほか、10月頃に関係機関様を通して次年度に向けたセミナー実施の協力依頼を行います。

※ご意見いただいた一部の内容について紹介しております。

事業種類	ご意見	回答
年金セミナー事業	先生方への周知(5年目、10年目研修等を活用した周知や教員に対するセミナー実施など)を図っていただけるといいのではないか。	先生方への研修会実施は、地域年金推進員を通してご相談、検討しましたが、5年目、10年目研修で時間を作るのはなかなか難しく、また働き方改革の現状の中、先生方を対象に新たな研修を実施するのも困難な状況です。令和6年度は各学校や各部会で制度周知の機会を設けていただけるよう、協力依頼を行いながら、引き続き検討してまいります。
年金セミナー事業	ポスターコンクールの実施にあたり、先生が転任した際には、転任先での応募アプローチも有効だと思う。	転任先で応募していただいたケースが実際にありました。令和6年度も、過去に応募があった先生が転任された際は、転任先でのアプローチを実施したいと考えています。
年金委員活動支援事業	年金機構との連絡を密にするうえで、電話連絡をナビダイヤルではなく、直通の回線を設置していただけると、コンタクトがスムーズになり、年金委員としてのメリットにもなるのではないか。	ナビダイヤルではなく、各事務所の総務担当(年金委員担当)へ直接繋がる電話番号を周知するなど、より連絡を取りやすい環境づくりに努めます。

※ご意見いただいた一部の内容について紹介しております。